第3回BUG Art Award グランプリ・里央による初個展を2027年2月10日より開催

第3回BUG Art Awardグランプリ受賞者個展
里央「ルシッド・ドリーマーズ」

会期：2027年2月10日（水）～3月14日（日） 11:00-19:00 火曜休館 ※ただし、2月23日（火）は開館します。

株式会社リクルートホールディングスが運営するBUGでは、2027年2月10日（水）より、第3回BUG Art Award*グランプリを受賞した里央による個展「ルシッド・ドリーマーズ」を開催します。

里央はこれまで、映像やサウンドインスタレーションなどあらゆる表現媒体を用い、政治的に抑圧された声を拡張する実践を続けてきました。クイアやミックスルーツといった、歴史のなかで複雑に交差する個人のアイデンティティを巡る表現は、「時に誰かにとってのロールモデルとして機能したり、戦い疲れた誰かにとっての休息の場所となること」を願って紡がれています。

グランプリを受賞した「Purple Back」は、友人兄弟に対して行ったインタビューのダイアログを、里央自身がドラァグキングとしてリップシンクする映像作品です。作中では、ブラックルーツを持つ友人兄弟が肌の色に関する経験を語る際に里央が画面外へ退出したり、BDS運動の対象企業の名前が出た際には口にテープを貼り、あえてリップシンクを拒むなど、独自の試みがなされています。審査員からは、アイデンティティやポリティクスなどのトピックを扱いながらも、ユーモアを感じさせる映像の構成や、内に閉じず社会や世界へと広く開かれた作品そのものの力強さが高く評価されました。

本展では、里央自身が性別移行（トランジション）を経験し、テストステロン投与を経て変化していく自身の声を用いた新作をはじめ、「世の中から見過ごされがちな存在」や「抑圧される身体」をテーマにした作品で会場を構成します。グランプリ受賞から約1年、思考と準備を重ねる里央の初個展にぜひご期待ください。

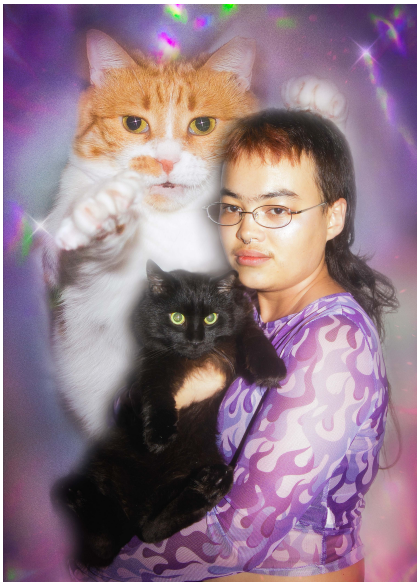
* BUG Art Awardは、制作活動年数10年以下のアーティストを対象にしたアワードです。審査員からのフィードバックの提供や、展示・設営に関する相談会の開催などのサポートを行い、審査過程においてもアーティストの成長に関与していきます。
https://bug.art/award/

アーティストステートメント

植民地支配をきっかけとする強烈な男女二元論や異性愛規範の蔓延する世界において、自分と他者を重ね合わせ、多少の未来を想像することが出来る存在を見つけることは、クイアにとっては時に死活問題である。私たちが私たちとして生きることが政治のディベートに悪用されたり、ジェンダーアファーミングケア*や医療へのアクセスが制限されたりする現状の世の中において、作家自身が社会運動の現場への参加をきっかけとして出会ってきたクイアたちの声を、BUGの空間に拡張する。その、時にかき消され、無かったこととされる声は、鑑賞者が能動性を持って空間を動き回ることで初めて聴き分けることが出来る。展示タイトルの「ルシッド・ドリーマーズ」とは、これは夢だと認識しながら夢を見ている状態の人を指す。クイアな作家にとって、この世界を生きるということは、そんな悪い夢を見ているようなディスフォリアが確実に存在するのと同時に、時にコミュニティや他者との出会いや、一生をかけた癒しの旅を通じて得られるユーフォリックな気持ちを持ち合わせている。（里央）

*ジェンダーアファーミングケアとは、性自認と出生時に割り当てられた性別が一致しない人々に対し、本人の心身の健康を支え、生きづらさや身体への違和感を和らげることを目的とした医療・心理・社会的支援の総称。カウンセリングなどの心理的支援、ホルモン療法や外科的手術などの医学的支援、名前や代名詞（プロナウン）の尊重、服装・髪型の変更、学校や職場環境の調整といった社会的支援などが含まれる。

アーティストプロフィール



里央 / LIO (they/them)

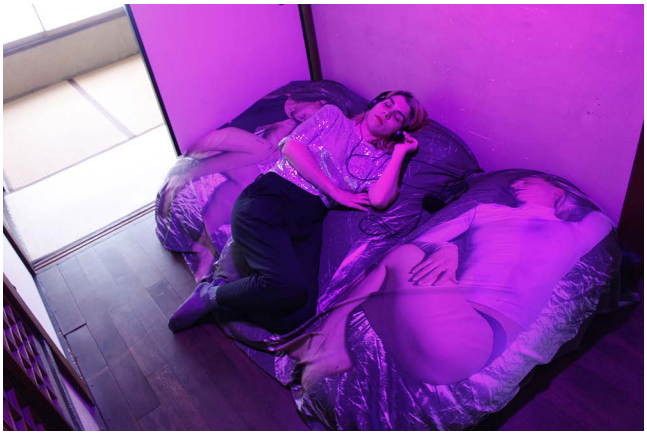
1996年長野県生まれ、東京都育ち。ギリシャ・アテネでの留学を経て、2023年に芸術分野を修了。
クイアとしての視点で、人種やジェンダーといった属性が形づくる境界や認識のあり方への関心を出発点に制作を行う。
フィクションとノンフィクションを往還するマルチメディア作品を通じて、社会の構造や規範に内在する前提をずらす実践を展開。映像、インスタレーション、舞台、パフォーマンスなど複数の領域を横断して活動。
代表作《Purple Back》(2024)。



《Purple Back》
「第3回BUG Art Award ファイナリスト展」
(BUG、2025年)展示風景



《"Our" Stories》
「第71回東京藝術大学卒業・修了作品展」
(取手キャンパス、2023年)展示風景



《the Warmest colour》
「Touch My Mumblings, Hug My Words, Kiss My Singing」
(旧平櫛田中邸アトリエ、2023年)展示風景



《俺は絶対に塗りたくなかったから虹色に塗ったの。》
2021年

■展覧会概要

第3回BUG Art Awardグランプリ受賞者個展 里央「ルシッド・ドリーマーズ」

会期:2027年2月10日(水)〜 3月14日(日)
時間:11:00-19:00
休館日:火曜 ※ただし、2月23日(火)は開館します。
入場料:無料
主催:BUG

BUG
〒100-6601 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー1F
Gran Tokyo SOUTH TOWER 1F, 1-9-2, Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo

交通アクセス
JR東京駅八重洲南口直結
東京メトロ京橋駅8番出口から徒歩5分
東京メトロ銀座一丁目駅1番出口から徒歩7分
※BUGには専用駐車場はありません。ご来館時には公共交通機関をご利用ください。

＜施設情報＞
・BUGはオフィスビル1階にあり、入り口から段差なくアクセスできます。
カフェの奥に広がる空間がBUGです。
・授乳室は設置しておりません。
・多目的トイレはビル内の同フロアに1つあります。
(おむつ交換台、ベビーチェア、オスメイト設置)
・トイレは地下1階(八重洲地下街)に複数あります。
エレベーターまたはエスカレーターが利用できます。
・BUGには専用駐車場はありません。ご来館には公共交通機関をご利用ください。

※BUGでは様々な事情を持つ皆様をお迎えできるよう、スタッフが可能な範囲でサポートや情報提供に努めています。

お問い合わせ先:株式会社リクルートホールディングス リクルートアートセンター　広報担当
Mail : info.bug@r.recruit.co.jp